

一緒に  
おおいたの景観を  
楽しみましょう！



発行：大分県土木建築部 都市・まちづくり推進課  
〒870-8501 大分市大手町3丁目1-1  
Tel.(097)506-4671 Fax.(097)506-1778  
令和7年3月発行



# おおいた景観 ハンドブック

Oita-Keikan Handbook



## 景観とは



「景（景色・風景）」を「観る」と書いて「景観」。  
 私たちの周りにある景色や環境の見え方のことです。  
 遠くの間々、温泉の湯けむり  
 電車の中から見えるまち並み  
 桜並木、夕焼け空  
 など、たくさんの景観があります。

今日は、一緒に  
 おおいたの景観を見ていきましょう。



おおいたの景観の素晴らしさ  
 をお伝えしたいです！

### おおいた景観ハンドブック編集室

ケイコさん：「おおいたの景観」について  
 日々考えているスタッフ  
 カン太くん：「おおいたの景観」が大好きな見習い  
 風呂敷には何か宝物が入っていると

表紙の写真

① タデ原湿原		② 真玉海岸
		③ 両合棚田
④ 馬溪橋		⑤ 富貴寺
⑥ 杵築城		⑦ 石灰鉱山
⑧ 二王座	⑩ 別府湾と 別府温泉の 湯けむり	
⑨ 藤河内 溪谷		



大分県には魅力的  
 な景観がたくさん  
 あるね！



## もくじ

### 1. 魅力あるおおいたの景観 ... 3

魅力あるおおいたの景観.....3

魅力あるおおいたの景観を形成する3つの要素.....4

おおいたの地形・地質.....5

おおいたの歴史・文化.....7

おおいたの生活・生業.....9

ちよって  
 ブレイク

景観に関する大分県の取組み  
 おおいた  
 広域景観12エリア.....11

### 2. 暮らしとともにある景観 ... 13

わたしの〇〇らしい景観.....13

景観と仲良くなろう.....28

わたしたちにできること.....29

おおいたって  
 いいところだなあ



# 1. 魅力ある おおいたの景観

## はじめに

みなさんは、「魅力あるおおいたの景観」と聞いて、どのような景観を想像しますか？

大分県は、くじゅう連山や祖母・傾山系といった雄大な山々、山国川や大分川といった壮大な河川、大分県に面する周防灘や豊後水道といった壮観な海、九重火山群や由布・鶴見火山群から湧き出す温泉など、美しく豊かな自然に恵まれています。

これらの美しく豊かな自然と先人たちの暮らしの中で、歴史や文化とともに育まれた建造物やまち並み、生活や生業のための石橋や美しい水田、情緒ある温泉地などの様々な「魅力あるおおいたの景観」が形成され、現在まで引き継がれています。

本ハンドブックは、「魅力あるおおいたの景観」をさらに次世代へと引き継いでいくために、県民のみなさんが「魅力あるおおいたの景観」について知り、身近な景観から守り育てていくきっかけの一助になればと思います、作成しました。



みなさんは大分県内の  
どこの景観が好きですか？



## 「魅力あるおおいたの景観」を形成する3つの要素

おおいたの景観は

地形・地質

歴史・文化

生活・生業

の3つの要素が重なって出来ています。



おおいたの  
地形・地質

+



おおいたの  
歴史・文化

+



おおいたの  
生活・生業

▼

魅力ある  
おおいたの景観

大昔、火山活動等によって大分県固有の自然（山、川、海）の形が出来ていきました。

**火山活動等によって生まれた  
地形・地質など**



由布岳 / 由布市

大分県固有の自然に寄り添うように先人たちの暮らしが出来ていき、人々が集まって暮らす中で、信仰やお祭り、郷土料理などの歴史や伝統文化が生まれ、受け継がれてきました。

**信仰、お祭り  
郷土料理、小藩分立※など**



許屋の坂 / 杵築市

※ 大分県下は、江戸時代8藩7領という15の領土に分けられていました

農業、林業、漁業が受け継がれるとともに、近代化が進み、鉄道や道路が走り、臨海部には工業地帯や工場が生まれ、現在の私たちが見ているような景観が出来ていきました。

**農業、林業、漁業  
工業、近代化など**



大分臨海工業地帯 / 大分市

大分県ならではの  
自然、歴史、暮らしによって  
形成された景観が  
「魅力あるおおいたの景観」なんだね。



# おおいたの地形・地質



① くじゅう連山北方にある猪牟田(しむた)カルデラから流れ出た火砕流によって出来た耶馬溪の景観 / 中津市



② 伽藍岳の火口 / 由布市

## 火山・温泉

県内には多くの火山があります。温泉の大多数は火山性であり、別府市の鶴見岳、由布市の由布岳、南西部のくじゅう連山の周辺に集中しています。



## ジオパーク

ジオパークとは、地形や地質等について、その成り立ちなどの調査研究を行いながら、教育・学習活動やツーリズムなどに活用し、地域活性化につなげる取組みを行っている地域のことです。県内では、2013年9月に「おおいた姫島ジオパーク」と「おおいた豊後大野ジオパーク」の2地域が日本ジオパークに認定されました。



③ 県北東部に位置する姫島は、約30万年前から活動した7つの火山によってできた4つの小島が、海的作用により砂州で繋がって一つになった島です。 / 姫島村



④ 原尻の滝は、阿蘇の巨大噴火による火砕流が冷えて固まり溶結凝灰岩となり、やがて水の浸食により崩落して出来たものです。 / 豊後大野市

## 海

北部の周防灘は遠浅の海岸、中部の別府湾沿岸はなだらかな海岸、南部の日豊海岸はリアス海岸、となっています。

どこの海で泳ぐのが好き？



県内に違うタイプの海岸があるんだね。



⑤ 周防灘に面する真玉海岸 / 豊後高田市



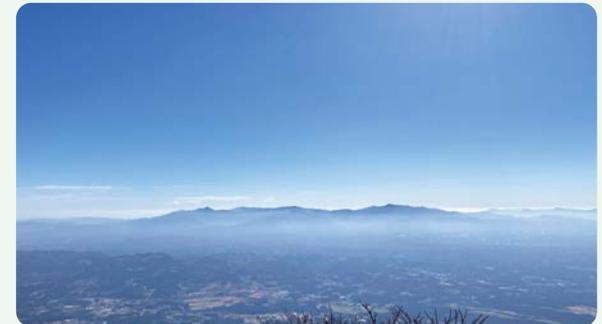
⑥ 日出町城山展望台から見た別府湾



⑦ 日豊海岸に位置する元猿港 / 佐伯市

## 山

北東部は、火山の噴火による岩峰群が立ち並ぶ両子山、北西部は英彦山系、南西部は「九州の屋根」といわれるくじゅう連山、南部は原生林が広がる祖母・傾山系の山々が連なっています。



⑧ 入山公廟(竹田市)から見た祖母・傾山系

## 河川

山国川、大分川、大野川、番匠川は大分県を代表する一級河川です。日田、玖珠地方には有明海に注ぐ筑後川、佐伯市宇目には五ヶ瀬川水系の北川が流れています。



⑨ 伐株山から見た筑後川

# おおいたの歴史・文化

## 石の文化

大分県内は加工しやすい溶結凝灰岩が豊富なため、石による建造物が数多く残されました。特に、県北部地域や豊肥地域を中心に、石橋、棚田の石積み、家屋の基礎等に石材が利用され、固有の文化的景観を形成しています。



① 馬浜橋 / 中津市



② 両合棚田 / 宇佐市



③ 住吉橋 / 竹田市



石橋の数は全国で大分県が最も多く、約500基あります！



● 県内では、阿蘇山の噴火による火砕流堆積物が溶結した溶結凝灰岩が多く見られます。

## 自然との共生

野焼きは1000年近くも前から続いているんだって！今では主に環境の保全のために行なわれているよ。



牛馬の放牧地やカヤ場として野焼きや採草によって維持されてきた緑豊かな草原は、先人たちが自然との共生の中で培ってきた「魅力あるおおいたの景観」といえます。

● 野焼きには樹林化を防ぐ目的があり、春先に枯れた草原を焼くことで病害虫を防ぎ、草の新芽の発育を促す効果があります。



④ 飯田高原の野焼き / 九重町



⑤ 鷹栖観音堂 / 宇佐市



⑥ 両子寺 / 国東市

## 神仏習合

国東半島では、神仏習合の「六郷満山文化」が花開きました。六郷満山とは国東半島にある寺院群の総称のことです。宇佐神宮は神仏習合発祥地の一つとされています。

● 神仏習合とは、日本古来の神道と仏教が、融合・調和すること。



⑦ 宇佐神宮 / 宇佐市

## 小藩分立

江戸時代には、8藩7領という15の領土に分けられた小藩分立により、藩や他国の領地、天領等がモザイク状に分布していました。各藩等が築いた城や館を中心に城下町、在町等が形成され、その当時の文化圏が現在も各所のまち並みに息づいています。



⑧ 城下町 / 日出町



⑨ 豆田町 / 日田市



⑩ 府内城 / 大分市

# おおいたの生活・生業

## 森林

大分県は、山地が多く平地が少ない地形であり、県土の約70%を森林が占めています。また、自然公園は県土の30%近くを占め、全国平均の倍となっており、森林や自然公園など自然景観に恵まれています。

大分県はスギの生産量が全国3位！



参考：  
大分県森林・林業デジタル副読本  
「木とつながる森とくらし」



① スギ林 / 九重町

大分の森林のうち  
およそ50%が  
人の手によって  
植えられた  
人工林なんだって！



② タデ原湿原 (阿蘇くじゅう国立公園) / 九重町

ドライブに  
ぴったり！



自然公園と温泉に  
恵まれているんだね！



## 温泉

大分県には多様な温泉があり、別府の湯けむり景観をはじめ、県内各所で雄大な自然や温泉街を背景とした情緒ある「おんせん県おおいた」の景観をつくり出しています。



③ 筋湯温泉 / 九重町



④ 天ヶ瀬温泉 / 日田市



⑤ 湯平温泉 / 由布市



⑥ 長湯温泉 / 竹田市



⑦ 鉄輪温泉 / 別府市



⑧ 大分臨海工業地帯 / 大分市



⑨ 漁村集落 / 臼杵市

## 耕地

水田や畑などの耕地は、県土の約10%で、海岸部の平地、河川沿いの盆地、山間部に分布しています。先人たちが築き上げた灌漑施設は、今でも管理され、現役で活躍しています。



⑪ 美迫池 / 国東市

クヌギ林とため池がつなぐ国東半島宇佐地域の農林水産循環が、2013年5月、世界農業遺産に選ばれました。

1938年に築造された灌漑用水の調整ダムです。通称「白水ダム」と呼ばれています。

## 海岸部

別府湾の港や大分市の大分臨海工業地帯、周防灘から日豊海岸にかけての漁業景観、津久見市の石灰鉱山とセメント工場等、暮らしを支える産業の景観が見られます。



⑩ 石灰鉱山とまち並み / 津久見市



⑫ 宇佐平野 / 宇佐市  
県下最大の穀倉地帯です。



⑬ 白水溜池堰堤水利施設一溝 / 竹田市

ちょっと  
ブレイク

# おおいた 広域景観12エリア

ドライブの  
参考にしよう！



あぁ！大分県内には  
こんなに  
いろいろな景観が  
あるんだね！



● 大分県では、令和5年3月に策定した「大分県広域景観保全・形成指針」の中で、地形・地質、歴史・文化、生活・生業の3つの視点から「12の広域景観エリア」を設定しています。



詳しくはこちら！  
大分県広域景観保全・形成指針  
(令和5年3月)



4 筑後川水系エリア  
三日月の滝  
玖珠盆地、日田盆地を流れる筑後川流域のエリア



5 やまなみハイウェイエリア  
長者原  
日本風景街道に選ばれているやまなみハイウェイを中心としたエリア



6 祖母・傾自然公園エリア  
神原溪谷  
祖母傾国定公園、祖母傾県立自然公園の指定エリア



7 日豊海岸エリア  
波当津海岸  
リアス海岸や離島が美しいエリア



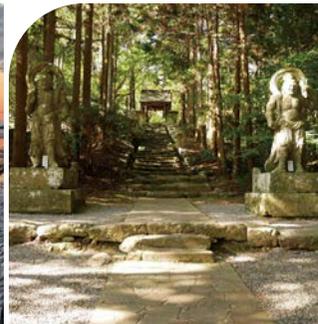
8 耶馬溪エリア  
青の洞門  
奇岩、秀峰、峡谷、溪流などが広がるエリア



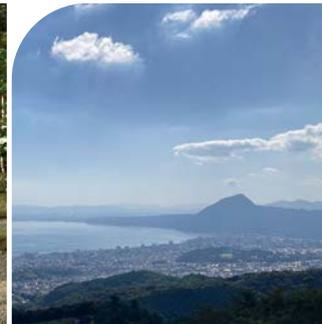
9 北部石橋文化エリア  
鳥居橋  
石積みの棚田や石橋が多く残るエリア



1 周防灘エリア  
中津干潟  
周防灘に面し、遠浅で干潟が美しいエリア



2 六郷満山エリア  
両子寺  
神仏習合の六郷満山文化が花開いたエリア



3 別府湾エリア  
別府湾  
別府湾を囲む市街地、海、山々の景観を楽しめるエリア



10 おおいた温泉地エリア  
別府温泉  
火山帯に沿って温泉地が集積しているエリア



11 白杵藩文化圏エリア  
八町大路  
白杵市旧城下町、大分市戸次本町、豊後大野市市場通りを含むエリア



12 南部石橋文化エリア  
虹濁橋  
大野川流域を中心に、石橋が多く残るエリア

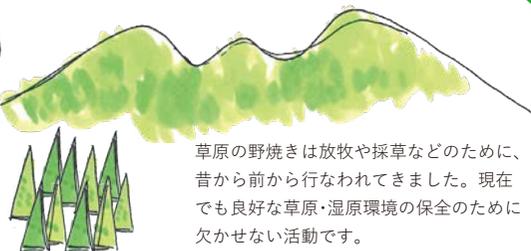
## 2. 暮らしと ともにある景観

みなさんにお話を聞きました。



### わたしの○○らしい景観

大分県には、地域それぞれに素晴らしい「魅力あるおわたの景観」があります。それらの景観は、その地域に住む人々の暮らしや営みによって、守られ、育まれていきます。そこで暮らしている方々に会いに行き、景観への思いや景観との関わり方などを聞いてきました。



草原の野焼きは放牧や採草などのために、昔から前から行なわれてきました。現在でも良好な草原・湿原環境の保全のために欠かせない活動です。

### 高原

草原と生きものともにある暮らし  
九重町（飯田高原）



### わたしの 飯田高原 らしい景観

空の青と草原の青、その間（はざま）を吹き渡る風が見える、感じられるところ。

川野智美さん



水田と井路ともにある暮らし  
豊後大野市緒方町

### 農業

水田は、遠くから井路（水路）を引くなど先人たちの苦勞や技術によって広げられていきました。



### わたしの 緒方らしい景観

水と石の上に成り立つ景観。



後藤祥さん



漁業ともにある暮らし  
佐伯市米水津（間越）

### 漁業



大分県には江戸時代の小藩分立を背景とした文化圏があり、今も各所のまちなみにも息づいています。

### わたしの 間越らしい景観

穏やかな海・荒れる海・大風の海。海の表情が身近に感じられる最高の場所！



戸高竜介さん



歴史的なまち並みともにある暮らし  
臼杵市（城下町周辺）

### 歴史



### わたしの 臼杵らしい景観

「おかえり」と言う日本の故郷がある。



板井登喜雄さん

県東南部の日豊海岸沿岸はリアス海岸で、海のすぐ後ろに山があるという特徴的な景観を有するとともに、豊かな漁場となっています。

### 石の文化

石積みの棚田と石橋ともにある暮らし  
宇佐市内町（両合）



### わたしの 両合らしい景観

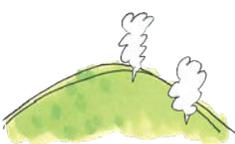
日本の原風景。先祖から受け継いだ自然をそのまま残したい。

石井一男さん



### 温泉

温泉ともにある暮らし  
別府市（別府駅周辺）



大分県内には多くの温泉地があり、中でも別府温泉は、毎分約9万ℓの湧出量と多様な種類の泉質を誇ります。

### わたしの 別府らしい景観

道路の側溝から沸き立つ湯気と、お風呂セットを持って歩く人たち。



森谷みちるさん





ごとう しょう  
後藤祥さんの

わたしの 緒方らしい景観

水田と井路とともにある暮らし / 豊後大野市緒方町

農業

豊後大野市

開けた水田の風景が僕らの原風景。  
春の水を張った青、夏の緑、  
秋の黄金色と、四季の移ろいを感じることができます。

水路開削により稲作地帯として発展してきた緒方盆地と、盆地中央部に蛇行する緒方川流域の農村景観が国の重要文化的景観となっている豊後大野市の緒方町。阿蘇火山由来の溶結凝灰岩が覆う丘陵地帯に位置し、水路網や石橋等、溶結凝灰岩を開発に活かした景観が至る所に残されています。そんな緒方町で、地域の歴史や伝統文化の継承に携わっている後藤祥さんにお話を聞いてきました。

## 緒方の景観の魅力



一ケイコ

後藤さんから見て、緒方の景観の魅力はどこですか？



一後藤さん

季節によって違う風景が見えるのが魅力ですね。特に水田の風景は、春の水を張った青、夏の緑、秋の黄金色と、四季の移ろいを感じることができます。

緒方では、江戸時代に岡藩の命によって、水田を広げるために井路より山側に家屋を建てることなどの土地利用方法が決められました。現在でも、藩政期の面影を残しているため、その当時の景観が楽しめます。これは、緒方の方たちの心の中に農地を守ろうとする思いが根付いているからだだと思います。



井路沿いの住宅と水車



江戸時代、水田の拡大のために、岡藩の命により家屋は全て井路より山手側に移されました。



一ケイコ

後藤さんが「緒方らしいな」と感じる景観はどこですか？



一後藤さん

市外県外から帰ってきたとき、共栄橋の付近でパッと視界が開け、水田の広がりが見えたとき、「緒方に帰ってきたな」と感じます。遠くに見える祖母山・傾山や久住山などを背景とした開けた水田の風景が僕らの原風景です。また、毎年お盆の頃に「小松明火祭り」という祭りがあり、水田を照らす夜の松明の灯りが子どもの頃から大好きでした。



後藤さんが「緒方に帰ってきたな」と感じる共栄橋からの眺め



幻想的な  
景観だね！



子どもの頃から  
大好きな「小松明火祭り」

## 緒方の伝統行事を繋ぐ



一ケイコ

お神楽をされているとお聞きました。



一後藤さん

20年以上前から緒方三社付きの緒方神楽座に所属しています。緒方には子ども神楽クラブというものがあり、後継者の育成を行っています。

一方で、集落ごとに行うような小さな行事は子どもたちが少なくなるとともに減少していきました。このような伝統行事は、本に記録として残ってはいますが、イメージできるのは僕たちの世代くらいまで。若い世代の人たちは本を読んだだけではわかりません。映像で残していくことも大切だと考えています。



一ケイコ

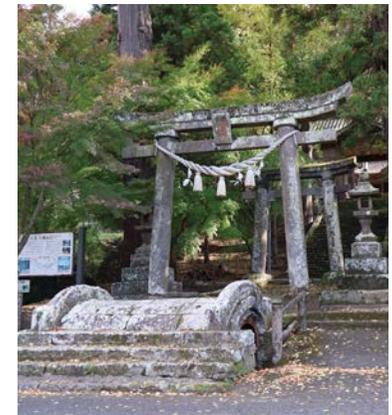
緒方はこれからどうなっていくと思いますか？



一後藤さん

何年ぶりに帰ってきて「緒方は変わらんなあ」と言われるような、いつまでも思い返される風景、景色であってほしい。今のままでも十分魅力ある景観。その魅力をこれからも伝えていくのが自分たちの仕事だと思っています。

後藤祥さん / 豊後大野市教育委員会社会教育課



緒方三社のうちの「二宮八幡社」  
手前に井路があり、石橋が架かっている





とだか りょうすけ  
**戸高竜介さんの**  
**わたしの 間越らしい景観**  
 漁業とともにある暮らし / 佐伯市米水津 (間越)

漁業

佐伯市

船端に立てば、自分と海、山、朝日の間を遮るものがない。夜に星空を見るのもいいです。

日豊海岸に位置する間越は、複雑な地形であるリアス海岸に栄養豊富な海流（黒潮）が流れ込むことにより、透明度が高く、きれいな海となっています。そんな間越で漁師をしている戸高さんにお話を聞いてきました。

## はざこ 漁師さんが見ている間越の景観

**一ケイコ**  
 海がきれいですね。港の水が透き通っていて、間近にたくさんの魚が見えるのでびっくりしました。

**一戸高さん**  
 ここは自然がきれい。きれいな海で獲れる魚なので自信を持っています。

**一ケイコ**  
 漁師である戸高さんは、日頃どのような景観を見ているのでしょうか。

**一戸高さん**  
 穏やかできれいな海も好きですが、台風の際の大荒れの海を見るのも好きなんです。大自然の力強さを感じ、「僕は勝てないな」と思いながら見えています。

**一ケイコ**  
 そういう視点で海を見るのって、漁師さんならではの感じがします。海が存在をととても身近に感じているんですね。



はざこ展望台から見た間越港  
 リアス海岸にある港は、すぐ後ろに山が迫っています。



荒れた海 (はざこ展望台から撮影) 穏やかな海 (はざこ展望台から撮影)

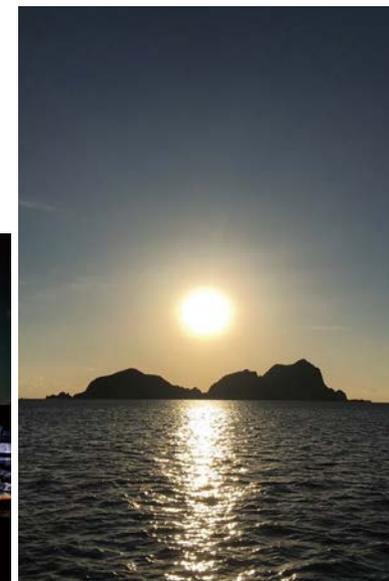
## 船の上から見る景観

**一戸高さん**  
 海の景観は朝と夕方でも違うし、季節でも違う。船上で、朝日が昇ってくるのを見るのが好きですね。船端に立てば、自分と海、山、朝日の間を遮るものがない。夜に星空を見るのもいいですね。星空を独り占めできるんです。

**一ケイコ**  
 船の上から見る朝日も星空もとってもきれいなんですね。漁師をされている戸高さんだから見ることのできる、とっておきの景観ですね。



夜の間越港



船の上から見た朝日

## 海を守るためにできること

**一ケイコ**  
 間越の海はきれいですが、景観や環境を守るために何かされていることはありますか。



間越海岸

**一戸高さん**  
 第一にやはり海岸清掃ですね。山から大量の木や枝や木くずが流れてきます。台風のあとは特に多い。山と海はつながっているので、一体的に守っていく必要があると思います。

プラスチックごみも多いです。ウミガメがプラスチックごみを食べることもあります。ウミガメに限らず、生きものを守るために海岸清掃が大切です。

## はざこ 間越の魚から季節を感じる

季節ごとの魚、美味しそう!



戸高竜介さん / 光盛丸

**一ケイコ**  
 最後に間越で獲れるお魚について教えてください。

**一戸高さん**  
 魚には季節があるんですよ。季節を楽しむのが魚の醍醐味だと思います。春は真鯛や赤ガマス、夏はスルメイカとハガツオ、秋はカンパチ、サバ、太刀魚、冬はヒラメやヒラスズキ、アオリイカ。カツオは夏から秋にかけてが旬ですが冬も脂ののって美味しい。真アジは一年中美味しいですね。



いたい ときお ゆうこ  
**板井登喜雄さん、優子さんの**  
**わたしの白杵らしい景観**  
 歴史的なまち並みとともにある暮らし / 白杵市（城下町周辺）

歴史

白杵市

いいものをいいと思える  
 心を育てることが大事。



丹生島城（白杵城）の城下町として発展し、今でも石畳に武家屋敷や町屋などの風情が色濃く残り、国の都市景観100選に選ばれた白杵市二王座。そんな二王座の武家屋敷で暮らし、地元で建築業を営む板井登喜雄さんと、長年幼稚園で教諭をされていた奥様の優子さんにお話を聞いてきました。

板井登喜雄さん / 会社役員  
 板井優子さん / 元幼稚園教諭



映画の撮影にも使われた、二王座の坂道にある洋館風の建物

## 白杵らしさとは—建物と景観—



—ケイコ

板井さんは、白杵市の「景観形成ガイドブック」の作成に携われたそうですね。



—登喜雄さん

白杵は歴史のある町ですが、「何時代」という縛りはなく、それぞれの時代ごとに丁寧につくられた建物が集まって「白杵らしさ」となっているように思います。

「景観形成ガイドブック」では、丁寧につくられる建物なら「良し」としたいけれど、それがどういうものか一つひとつルールを決めて伝わり易くしています。

地元の設計者ならガイドブックに沿った対応ができますが、地元の方以外の設計においては、理解が行き届いていない部分も多々あります。



「景観形成ガイドブック」  
 / 平成25年 白杵市

平成24年度に景観形成重点地区の「景観計画」が策定されたことに伴い、「景観計画」について広く市民に知ってもらうために作成された。



—ケイコ

景観を守るには、伝統工法などを伝えていくことも大切なんですね。

## 人育ての大切さ



—優子さん

私は福岡県大牟田市出身です。白杵には「素晴らしい」景観がたくさんあります。でもそれは、この土地で生まれ育った人たちにとっては当たり前すぎて、気づいていないことかもしれません。

私が勤めていた幼稚園では、春に白杵公園の素晴らしい桜を見ることができました。先生たちは園庭で遊ぶ子どもたちに「きれいだね、桜の花が咲いたね」などと語りかけます。

このように、素晴らしい景色を通して、先生たちが言葉の種蒔きをしていると、日々過ごしている場所を誇らしく思う、子どもたちの心が育まれていくように思います。

ごく普通の生活圏の中にある石の塀や、屋根瓦の美しさ、白杵らしさや白杵の良さに、まず、大人たちが気づき、感じる事が、次の世代の子どもたちへ伝えていくための大切な懸け橋になる気がします。

子どもたちが大人になったときに、遠くにいても近くに住んでいても、白杵らしい景観を誇りに思い、大切に守っていこうと思う「良い種」を、日々の生活の中で蒔き続けることが大切だと感じます。



—ケイコ

子どもの頃から感性を育てていくことが大事なんですね。



—優子さん

生活圏の中にある白杵らしい景観を、子どもと一緒に感じることを大切にしたいですね。



石の塀と屋根瓦の連続性が美しい二王座の坂道

この歴史ある坂道も、地域の人たちが守っているんだよ。

※「景観ガイドブック」では、二王座の景観を守るための配慮事項等を定めています。



## 「ハード」と「ソフト」の両輪で



—登喜雄さん

白杵らしい景観を守っていくには、いいものをいいと思える心を育てることが大事。僕は建築の立場から景観づくりに関わってきましたが、教育がいかに大切かということを感じます。



—ケイコ

登喜雄さんと優子さんは、建築と教育の両輪で、白杵らしさを守っているんだなあと思いました。

登喜雄さんからは「丁寧」という言葉をお聞きしましたが、白杵のまち並みからは、建物の建て方や暮らし方の「丁寧さ」を感じます。



登喜雄さんに見せていただいた建築のスケッチ  
 温かいタッチから、建物や白杵への愛情を感じます。



白杵に来ると、なんだか気持ちが落ち着くんだよ。



かわの さとみ  
**川野智美さんの**  
**わたしの 飯田高原らしい景観**  
**草原と生きものとともにある暮らし / 九重町 (飯田高原)**

**高原**



九重町



川野智美さん  
 一般財団法人セブン・イレブン記念財団  
 九重ふるさと自然学校 代表

飯田高原は、大自然と人が折り合いながら、  
 いい塩梅で作り上げてきた景観だと思います。

九重町南部の阿蘇くじゅう国立公園内に位置し、美しい高原の景観や貴重な動植物の宝庫でもある飯田高原。そんな飯田高原で自然環境や生態系の保護・保全活動を行っている川野さんにお話を聞きました。

**飯田高原の草原**

- 一ケイコ**  
 飯田高原の草原は、春の野焼き、夏の青々とした緑、秋のススキ、冬の雪景色と本当に美しいですね。
- 一川野さん**  
 草原といってもいくつかの種類があるんですよ。例えば野焼きや採草などを行い、その地に生育するススキなどの野草が繁茂した草原（半自然草原）や、土地改良し、牧草となる種子を蒔くことで出来た草原（人工草地）などがあります。飯田高原の草原は生活の場と言えます。

- 一ケイコ**  
 飯田高原といえば春の野焼きが有名ですが、なぜ野焼きをするのですか。



野焼きの様子

- 一ケイコ**  
 草原＝自然みたいだと思っていただけ、実は生活の場だったんですね。生活の場としての草原の役割はどのようなものなのでしょうか。
- 一川野さん**  
 屋根葺き用の茅（カヤ）場、牛馬のエサの採草地や放牧地などの役割があります。近年では、茅葺屋根も牛馬の放牧も減ってきましたが、

- 一川野さん**  
 野焼きをすることは、樹木などを生えにくくする効果があります。草原を放置すると樹木が生えて森林となり環境が変わってしまいます。半自然草原を維持することは、生物多様性の維持にもつながります。野焼きは地域の方々とボランティアの方々が「草原の自然と風景を守りたい」という思いを持って参加しています。

野焼きは、地域のみなさんとともにボランティアのみなさんが頑張ってくれているんだね。



**人の営みが維持されることで、  
 生物多様性（多様な自然、多様な生きもの）も維持できる**

- 一ケイコ**  
 生物多様性という言葉が出ましたが、もう少し詳しく教えてください。
- 一川野さん**  
 実は日本では、人の手が入っていないところはほぼないと言っても過言ではありません。人の手が入り環境が変わることが全て悪というわけではなく、「里山・里地」というような人が生活のために維持してきた場合には、多様な自然があり、多様な生きものが命をつないできました。
- 一ケイコ**  
 飯田高原では、暮らしを維持することが生物多様性を守ることになるんですね。
- 一川野さん**  
 そうですね。先人たちの暮らしの知恵の中に自然と共生するヒントがあると思います。

**地域のみなさんに育てられた**

- 一ケイコ**  
 川野さんが九重ふるさと自然学校に来られたのはいつですか。
- 一川野さん**  
 開校して4年目に来ました。立ち上げたばかりの頃です。地域の老人会のみなさんには大変お世話になりました。田んぼ作りも、地域のおじちゃんおばあちゃんに教えてもらいました。地域のみなさんに教えてもらったことに、スタッフの得意分野を足して、自然学校のプログラムを作っています。

例えば「お米も生きものも育む自然共生型田んぼ」は無農薬とともに、中干し延期や冬期湛水など田んぼの生きものも共存しやすい工夫をこらし、一年中田んぼの生きもの観察ができます。



生きものも育む「自然共生型田んぼ」

**飯田高原の美味しい景観**

- 一川野さん**  
 気候風土にあったもので、美味しいものが出来上がります。その土地で採れたものが一番美味しい。ふるさとを愛する心を育むことに、食もすごく関係があると思います。子どもの頃から食べているものを食べると、懐かしくて嬉しい気持ちになります。味だけでなく思い出も一緒になってさらに美味しい。
- 一ケイコ**  
 美味しいものを食べて思い出す「ふるさとの景観」ですね。



「むたとうきび」

若く実が柔らかいうちは焼いて食べ、完熟したら乾燥させて粉にして餅に混ぜて「とうきび餅」として食べた。

「おりゅうさん豆」

おりゅうさんが飯田にお嫁に来た時に持ってきたと言われている。「むらさき豆」とも呼ばれる。

おりゅうさん豆、とっても美味しかったです！





いしい かずお こうみ  
**石井一男さん、康美さんの**  
**わたしの両合らしい景観**  
 石積みの棚田と石橋とともにある暮らし / 宇佐市内町 (両合)

石の文化



先祖が残したものは大事にするべき。残すべきものは残す。

国の登録有形文化財の両合川橋と、日本棚田百選に選ばれた狭く急峻な地形に石積みで階段状に築かれた両合棚田からなるのどかな景観を持つ両合。そんな両合で、棚田を守りながら暮らしを営む石井さんご夫妻にお話を聞いてきました。

## 石積みと自然との共生



一ケイコ

とても素敵なおとこですね。日本の昔話に出てくるような景観だなあと思いました。

昔のままの土のあぜ道には、いろいろな植物が生えています。



多孔質な石積みは多くの植物や生き物の棲息の場。



一男さん

日本の原風景である古き良き昭和の風景を残したい。だから棚田の石積みが壊れたら、できるだけコンクリートは使わずに、元の石で復旧する。また、田んぼのあぜ道も昔ながらの土ですから、崩れたらまた土を塗って補修します。自然を壊すのは簡単だけど、守るのは大変です。



一康美さん

私も石積みの復旧をやるんですよ。嫁いできてから、お義父さんがやっているのを横で見て覚えました。



一ケイコ

両合川橋の路面に芝が生えているのも素敵だなあと思いました。



一康美さん

昔から自然と芝が生えているんですよ。



一男さん

両合川橋は大正14年(1925年)に架けられました。小平川を挟んだ二つの集落が出会うから「両合」と名づけられました。



路面が芝に覆われた両合川橋



一ケイコ

両合川橋に自然に生えた芝からは、人と自然の共生を感じ、渡るときに優しい気持ちになりました。



一男さん

両合は空気と水がきれいなどところ。昔のままの環境を守っているのが、タガメ、イモリ、ドジョウ、たくさんの生きものが棲息しています。

## いろいろな人が両合に



一ケイコ

両合には、若い人たちが集まってくるそうですね。



一男さん

A P U (立命館アジア太平洋大学) の学生さんたちと、宇佐産業科学高校の生徒さんたちが、授業の一環で定期的に来ています。私たちは、一緒に学ぼうという気持ちでいます。A P U の学生さんたちは半分以上が留学生で、9か国の人たちで一つの田んぼの稲刈りをしたことも。



一康美さん

宇佐産業科学高校の卒業生たちは、毎年、合宿して草刈りに来てくれます。両合で食べるご飯を楽しみにしてくれています。ここにしかないものを食べてもらいたいので、地元で採れたもので美味しいご飯をつくります。

写真を撮りに県外からも多くの人が来るんだって。



「両合フォトコンテスト」もやってるよね。



お二人の写真を撮りたいとお願いしたら「両合のためなら」ということで承諾していただきました。せっかくだから両合川橋で写真を撮りましょうとなったとき、「両合川橋が主役だから」と橋の横に立つお二人。両合川橋、そして両合を大切に思う気持ちを感じました。

石井一男さん・石井康美さん / 両合棚田を守る会

お二人の温かくてまっすぐな人柄にファンになってしまいました。また来ます!!





もりや  
**森谷みちるさん、近間奈津美さんの 温泉**  
わたしの 別府らしい景観  
温泉とともにある暮らし / 別府市 (別府駅周辺)

地元の温泉を中心とした交流の風景が別府らしいなと思います。



源泉数、湧出量ともに日本一を誇り、その湯けむり景観は重要文化的景観にも選ばれた温泉都市、別府。そんな別府市のまちなかでゲストハウスを運営する森谷みちるさんと、スタッフの近間奈津美さんにお話を聞きました。

森谷みちるさん (右)、近間奈津美さん (左) / 別府市内でゲストハウスを運営

地元の温泉に入るときは挨拶すると交流が生まれるよ。



## 地元の温泉の魅力



—ケイコ

森谷さんのゲストハウスの利用者は、海外からの方が多くとか。



—森谷さん

韓国、台湾の方が多くですね。思ったよりヨーロッパ系の方も結構多いです。ヨーロッパ系の方は「ここにしかないもの」を求めて来ます。



—ケイコ

宿泊客の方には、近所にある地元の温泉の入浴券を渡しているそうですね。



—森谷さん

地元の温泉こそ別府の文化なので、ぜひ体験してほしい。自治会長さんにお話をし、入浴券をお渡しできることになりました。海外から来た方はマナーがわからないので「靴はここで脱ぎます」など、丁寧に説明しています。



—近間さん

私は地元の温泉が大好きです。マナーを守らない人には注意をすることもありますが、地元の方はみなさんとても優しいです。地元の温泉はシャワーがないところが多いですが、地元のみなさんが温泉の入りを教えてくれたりして、不便さからくるその交流がまたいいなと思います。建物も可愛いんですよ。



—森谷さん

すぐそばにあった温泉はお湯が枯れて今は閉鎖しています。以前は、温泉に入ったあとに目の前の八百屋さんでアイスやスイカを買って食べながら話していたそうです。そういう交流は別府らしいなと思いました。近頃は、温泉が枯れる、利用者の高齢化等の理由で、地元の温泉が閉まっていています。人手不足で管理が大変になってきているのですが、地域の方々が協力してなんとか続ける努力をしてくれています。

## 変わりゆく別府の景観



—ケイコ

森谷さんから見て、別府の景観の魅力ってどんなところだと思いますか？



—森谷さん

地元の温泉があって、朝から風呂桶を持って歩いている人がいるのも別府らしい景観だなと思います。また、後ろに山があって、目の前に海が広がっている開放感のある地形が魅力の一つではないかと。



湯けむり展望台から見た別府の市街地



—ケイコ

別府は、温泉があって眺めもいいから昔は別荘が多かったそうですね。



—森谷さん

昔は別府公園から海が見渡せたそうです。この辺りも木造3階建ての建物が多く、のんびりした雰囲気だったようです。昭和になって大きなホテルが建つようになり、日照や風通しも変化したとか。実はこの辺りには、まだ数軒、木造の古い建物が残ってるんです。それが別府らしい景観の一つだと思うんですが、最近はずいぶん取り壊されて更地になっていたりすることが多い。毎日「いつなくなってしまうか」とドキドキしています。

森谷さんと周辺を散歩してみました。昭和の懐かしさを感じる界隈に別府の魅力を感じます。

ちょっとお散歩



大きな通りから1本入ると、このように古い建物が残っています。タイムスリップしたみたい。



やっぱりいました。猫さん。

地元の温泉の前にはお地藏さまがいます。



海門寺公園から続く通り。「この辺りは、昔からのお店ばかりなので夜は静かだけどいい雰囲気です」と森谷さん。



見上げる別府タワー。目の前は昭和のまち並み。



地元の温泉も古い建築物も、地域の人たちの暮らしの中で大切に受け継がれてきたもの。この別府らしい景観と文化を守っていきたくですね。



わたしたちができることはあるかな？



## わたしの〇〇らしい景観 インタビューを終えて



インタビューとっても楽しかったね!!  
どこも素敵で住んでみたくなっちゃったもんね。

みなさんそれぞれ、暮らしとともにある景観のことが大好きで、誇りに思ってるんだなあと感じたよ。  
カン太くんは、どんなことに気づいた?



僕はいろいろとお話を聞いてみて、僕がいつもあたりまえだと思っていた景観を、実はいろんな人が頑張って守ってくれているんだということに気づいたよ。

たしかに! 飯田高原の川野さんは、「地域の方とボランティアの方が協力して野焼きを頑張っている」と言っていたよね。  
みなさん、いろいろな方々と協力しながら、景観を守ることにつながる活動をしていたね。



田園風景を守り、歴史や伝統文化を継承する活動をしている。



建築や教育の視点から、白杵らしいまち並みを守り継承することを考える。



地域の方々と一緒に飯田高原の草原や自然や生きものを守る。



古き良き日本の原風景を守るために、両合の棚田や自然を守る。



地域の方や宿泊客の方と交流して、地元の温泉文化を伝える。



### 初公開! 風呂敷の中身

いつも大事に持っている風呂敷の中身は、インタビューに行ったときにみなさんにいただいたものだよ!

宝物です!

緒方のお米で作ったおにぎり

白杵のカボス

間越の真アジ



飯田高原のおりゅうさん豆

両合の干しシイタケ



別府の温泉チケット

## 景観と仲良くなろう

でも!

僕たちにも、景観のために何かできることはあるかな?



何をしたらいいんだろう? 私が住んでるところは、普通にも何もないところだし。



ケイコさん、ちょっと待ってください!

普段あたりまえに暮らしていて「何もない」と思っている、よく見たらケイコさんの周りにもきっと素敵な景観がありますよ。



あ、編集長  
初登場



1 2 3 4

まずはケイコさんの身の周りがある景観に興味を持ってみてはどう? お気に入りの景観や大切だと思う景観が見つかると思いますよ。



「そうか!」

いつもは素通りする道にもよく見たら素晴らしい景観が隠れているかもね。身の周りの景観を意識して見てみよう!



そこで、この景観を「大切にしたい」「守りたい」という気持ちが芽生えたら、少しずつ自分のできることをやってみたらいいんだよ。



### まずは身の周りにある景観に興味を持とう!

散歩したり、好きな景観や気になる景観を写真に撮ったりしてみると、新たな良さに気づくなど、何か発見があるかもしれません。



歩道に落ちていた木の实



いつもの通学路



イチヨウの葉のじゅうたん



土手からの眺め

いつもは車で通るだけだけど、歩いてみたらこんなに素敵な場所があったんだ、とか!



フォローしてね!



大分県ではInstagramで「魅力あるおいたの景観」を発信しています。おいたの景観まちづくり (@oitakeikan)



# わたしたちにできること



「魅力あるおおいたの景観」  
を次世代に  
引き継いでいくために

**ステップ1 景観と仲良くなる**  
●まずは身の周りの景観に興味を持つことから

一人ひとりから始められること

散歩する

四季の変化を楽しむ

景観に興味を持つ写真を撮る

庭先をきれいにする

山、空、まち並みなど遠くの景観を眺める

家の周りを緑化する

地域の行事に参加する

**ステップ2 景観を整える、つくる**  
●自分たちでできることをやってみる

仲間やコミュニティでつながって

より多くの人たちとつながって

**ステップ3 景観を守る、育む**  
●地域の方々、民間企業、行政などみんなで協力する

並木を自分たちで守る

並木の伐採の話が出たときに、商店街の方たちで通りの清掃をすることにして、並木を守りました。並木のおかげで、夏には涼しい緑陰が出来るそうです。

オアシス並木通り商店街 / 大分市

**例2 田んぼをチューリップ畑に！**

通りに新たな景観を生み出した看板代わりのミニライブラリー

「お店の看板の代わりにミニライブラリー（自由に本を置いたり持ったりできる本棚）を置いてみよう」と考えた店主さんが、通り沿いに設置。近隣の方々が散歩がてらに覗いたり、通りに面白い景観を生み出しています。

とある美容室の店先 / 大分市

はだ花咲き会 / 大分市

夏から秋はお米を作る田んぼ。稲刈りの後に「たきお子ども食堂」の子どもたちと植えた約2,500球ものチューリップの球根が春には一斉に咲き始め、地域の方々に喜ばれています。

一般的に「景観」という言葉には馴染みがうすく、「景観」を自分事として捉えている人は少ないようです。

まずは、散歩して近所の景観に興味を持つつというように、誰にでもできそうな小さな取り組みから始めてみて、少しずつ、地域の方々とのつながりや「魅力あるおおいたの景観」を守り、育てる輪を広げていこう！

山とか海とか？

あまり考えたことないなあ。

大きな橋や道路？

国や県などの公共の事業かな？

普段使わない言葉だからピンとこないかも。

※「景観」についてのイメージを、年代や職業の違ういろいろな人に聞いてみました。

**できることから楽しんでやろうね！**

**例1 地域の伝統文化を継承する**

大分の先祖神である大分君稚臣（おおいたのきみわかみ）大分君惠尺（おおいたのきみえさか）その始祖とされる豊門別命（とよとわけのみこと）を御祭神としています。

大分市の羽田神楽 / 大分市

地域のお祭りを継承することで、お祭りのある景観や、お祭りを行う場所を守ることに繋がります。

**例2 歴史的な建物やまち並みを保全する**

江戸時代末期から戦前にかけて建てられた貴重な建築物が現存し、今も活用されています。

戸次本町のまち並み / 大分市

歴史的な建物やまち並み等を保全することで、その地域固有の景観を守ることに繋がります。

**例3 受け継がれてきた農地を守る**

農地を守ることは、食料や美しい田園風景だけでなく、農地がもつ保水機能等による防災機能や、生物多様性を守ることにつながります。

美味しいお米だよ！

稲が実った田んぼ / 豊後大野市

**みんなで 魅力あるおおいたの景観を守り、育てて 次世代に引き継いでいこう！**

